

創刊号

No.
001

よもぎたん 村社会協議会だより

「気にかけ合い・つながり・助け合い」を基盤とした地域づくり

地域福祉の推進について



CONTENT

- 1 表紙
- 2 蓬田村社会福祉協議会が担う地域福祉の推進とは
- 3 創刊のご挨拶
- 4 事業紹介
- 5 Q&A
- 6 蓬田村で活動する福祉団体の事業を紹介します
- 7 ねまるカフェだより
- 8 ボランティア募集/ボランティア養成研修/
ボランティア活動をしてみたいと思っている方へ



社会福祉法人
蓬田村社会福祉協議会

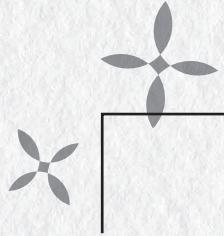
〒030-1202 東津軽郡蓬田村大字瀬辺地字山田35-84

TEL 0174-27-2828
FAX 0174-27-2830

HPは
こちら



<http://www.yomogitashakkyo.jp/index.html>



創刊のご挨拶



地域福祉のさらなる充実と取り組みを
多くの人に届けるために
季刊誌「よもぎた社協だより」を創刊しました。



この度、社会福祉法人蓬田村社会福祉協議会では、季刊誌として「よもぎた社協だより」を発刊することになりました。地域の皆さん・福祉関係機関の皆さんに、当法人に関する情報をわかりやすく発信し、地域福祉のさらなる充実と社会福祉サービスを多くのひとに届けることをはかってまいりたいと考えております。当法人は、理念に基づいた社会福祉の実践を住民の皆さんを主体に提供し、地域住民の

困りごとの解消、社会参加の促進、介護予防に寄与すると共に、「地域に根ざした社会福祉」を構築するため地道に努力を続けております。特に、少子高齢化が進展し、複合化する生活課題を抱えている方が増加している現代においては、フォーマル・インフォーマルな社会資源を効果的に活用することに加えて、住民主体による社会資源の開発及び展開が求められています。

今後、季刊誌「よもぎた社協だより」を通じ、当法人の紹介と地域の皆さまのお役にたてるような情報を発信できるよう、紙面の充実に取り組んでまいりたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人
蓬田村社会福祉協議会

会長 田中 武

蓬田村社会福祉協議会が担う 地域福祉の推進とは



1960年代からある地域福祉という考え方

かつての日本は伝統的な村落共同体が形成され、隣近所で支え合う仕組みが成立していました。部落が形成され、それぞれが地域をまとめる役割を果たしていました。しかし、人口が都市部に移動し、地域では過疎化が進み、これまで存在していた伝統的な地域社会は脆弱化しています。

現在の地域福祉政策では、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることが掲げられていますが、昔は、介護が必要となった高齢者や障がいのある方は施設へ入居するのが当たり前と考えられていました。現在では地域で支え合い、地域の中で暮らし続けるという考え方へ移行し、2000年から施行された「介護保険法」と、2000年に改正された「社会福祉法」が地域福祉を形づくる上で非常に重要となりました。

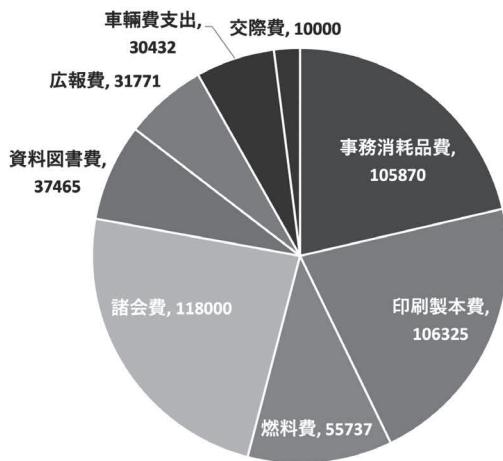
そして、社会福祉協議会では、子供・高齢者・障がい者などすべての人々が“地域の中”で協力し、生きがいを共に創り高め合うことのできる「地域共生社会」の実現に向けて事業を推進しております。支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく暮らせるための地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと共同して助け合いながら暮らすことのできる取り組みを実践しております。

社協会員会費について

1世帯につき700円をご納入いただいている社協会員会費は、地域福祉の推進にかかる事業に活用をさせていただいております。各地区ごとにご納入いただきました会員会費の活用についてを報告いたします。

社協会員会費合計額495,600円（中沢自治会67,900円、長科自治会63,700円、ぐっと町会51,800円、蓬田自治会74,900円、宮本自治会24,500円、郷沢自治会54,600円、瀬辺地自治会71,400円、広瀬自治会60,200円、高根自治会26,600円）

令和4年度社協会員会費決算



会員会費は、通いの場「ねまるカフェ」の創出（115,870円:事務消耗品費・交際費）、移動支援ボランティア「たすけあい交通」（30,432円:車輌費）、老人クラブ連合会・身体障害者福祉会・母子寡婦福祉会の活動（177,062円:印刷製本費・燃料費・諸会費）、県郡社協（103,000円:諸会費）、蓬田社協事務費（69,236円:資料図書費・広報費）に活用させていただきました。

令和4年度（1月～3月）

通いの場「ねまるカフェ」実績

地区名	利用者延人数
中沢地区	7人
長科地区	2人
阿弥陀川地区	3人
ぐっと町会	0人
蓬田地区	39人
宮本地区	0人
郷沢地区	16人
瀬辺地地区	35人
広瀬地区	2人
高根地区	1人

令和4年度

蓬田村たすけあい交通実績

地区名	利用者延人数
中沢地区	64人
長科地区	39人
阿弥陀川地区	43人
ぐっと町会	6人
蓬田地区	112人
宮本地区	1人
郷沢地区	98人
瀬辺地地区	164人
広瀬地区	62人
高根地区	27人

令和5年度の社協会員会費の使い道は広報誌の発行、地域における集いの場支援、その他地域福祉活動にかかる経費に活用させていただく予定です。

Q & A 社協って何?

蓬田村社協ってどんな仕事をしているの?
どういうことをやっている団体なの?



A. 地域に根ざした福祉活動をしています。たとえば…

地域福祉の推進

蓬田社協では、ボランティア活動の充実や「つどい・通いの場」の促進、地域の困りごとを知る座談会を開催し「人とのつながり」を守り・広めることで地域力を高め、自立した豊かな生活の実現に向けた取り組みを行っております。



福祉団体事務局

老人クラブや民生委員児童委員、身体障がい者福祉社会や母子寡婦福祉社会等の事務局を担っております。各会における役員会や総会、各事業を実施することで、会員相互のつながり支援や社会参加促進等を行っております。

心配ごと相談

誰でも高齢や病気、障がいや生活困窮などによって社会的に弱い立場に立たされることがあります。病気や障がい、家庭環境または社会問題等による収入の減少や失業により生活が困難に陥った世帯へ、生活資金の貸付や食料、日用品の支給等を行っております。面談等を通して、自立した生活の実現を支援しております。

「一人で悩んでいませんか? /
自立に向けた相談窓口のご案内

困りごとや心配

- 仕事がなかなか決まらない
- 仕事が長続きしない
- 高齢だけど働いて収入を得たい
- 社会参加してにかの役に立ちたい
- あなたの息子がずっと働かないで家にいる。
将来どうしよう…。
- 他のにも
借金が多くなる(債務が心配)
医療費や税金、家賃や
公共料金が払えない…。
病気で生活に困っている(健康が心配)

「なにをどうすればいいかわからない」と立ち止まらずに
一緒に進んでみませんか?

あなたの暮らしを安心した毎日になるまで
寄り添いながら支援します。

相談無料
通話料無料
まではお電話を
0800-800-7114

各窓口の詳細は
裏面をご覧ください。



事業紹介



地域福祉の推進

蓬田村 ボランティアセンター

通院や買い物、集いを目的とした移動支援(蓬田村たすけあい交通)。除雪や草取りなどを行う生活支援。農作業を通じた介護予防を目的とした援農ボランティアを行っております。ボランティア養成研修、交流会、反省会の実施・ボランティア保険手続き等を行っております。

福祉コミュニティづくり

地域の困りごと・出来ることを考える福祉座談会を開催しております。住民・自治会・福祉関係機関等が一緒に地域の困りごとを考え、気にかける気持ちを育み、主体的な生活支援・介護予防を促進しております。

ひとり暮らし 高齢者の見守り

民生委員児童委員の方と協働し、ひとり暮らし高齢者の自宅を訪問し生活状況の確認、困りごとの把握等を行っております。また、ひとり暮らし高齢者の方を対象に昼食会を開催しております。

福祉安心 電話サービス事業

ひとり暮らしの高齢者の方が心身機能の低下や疾病等に伴い発生する緊急時に対応するため、安心電話を設置し緊急時対応と見守りを実施しております。

在宅介護の支援

要介護4以上の認定を受けた要介護者を家族に抱える世帯に対して介護用品(おむつ・手袋・体拭き等)を無償配布しております。

各種福祉大会

蓬田村社会福祉大会・蓬田村老人クラブクリエーション大会・蓬田村身体障がい者レクリエーション大会、芸能発表会等を開催し、子どもや高齢者、障がいを抱えている方など、誰もが参加できる大会を開催しております。



心配ごと相談

フードバンク

収入の減少や病気等により困窮に陥った世帯へ無償で食品の提供を行う事業を実施しております。当事者の自立を図ることを目的としています。

たすけあい資金

一時的な生活資金を必要とする当事者を対象に、最高50,000円までの貸付を行う事業です。フードバンクと同様に、当事者の自立支援を目的としております。

日常生活自立支援事業

認知症や障がいによって判断能力が不十分な方の金銭管理や福祉サービスの利用を支援しております。ひとりでの日常生活に不安のある方が、地域で安心して自立した生活が送れるように契約に基づき行う事業です。

生活福祉資金貸付事業

青森県社協が実施主体となり低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象に、資金の貸付と相談支援を行う事業です。世帯の自立等を図ることで安定した生活の実現を目的としております。蓬田村社協では、心配ごと・困りごとの把握等に向けた面談を行っております。

人とつながる通いの場

おまるかげだより

友人やご近所さんなど誰でも利用できる通いの場です。お気軽にお越しください。

お茶のみ

脳トレをしながら楽しくお茶のみをしませんか?
脳トレは認知症の予防にもなります。友人やご近所さんを誘って是非お試しください。



百歳体操・ 健康相談・各種講話

100歳体操は“おもり”を使った簡単な体操です。年齢を問わず誰でも無理なく続けられます。健康や介護予防にかかる各種講話も行っております。



毎月第2・第4月曜日10:00～12:00に保健師さんによる健康相談を実施しております。健康にかかる相談等がありましたらお気軽に問い合わせください。



eスポーツ・ 健康麻雀

任天堂switchを活用したeスポーツや健康麻雀などの趣味活動を通じた健康づくり・介護予防を行っております。健康麻雀を始めたい方はボランティアさんがわかりやすく教えて下さい。お気軽にお問い合わせください。



習字教室

毎週金曜日10:00～12:00にボランティアさんによる習字教室を開催しております。年齢にかかわらず誰でも始められます。健康づくりの一環として習字を始めてみませんか?



お知らせ

・展示コーナー

習字やパッチワークなど趣味活動の展示コーナーもありますので是非ご覧ください。展示したい方はお気軽にお問い合わせください。



・パソコン・スマートフォン相談

パソコンやスマートフォンの使い方でお困りの方に出来る限りのサポートをいたします。お気軽にお問い合わせください。

蓬田村で活動する福祉団体の事業を紹介します



役員会・総会の開催、会計業務等のほかに、
令和4年度ではこのような事業を行いました。



TOPICS 蓬田村老人クラブ連合会



令和5年2月2日
蓬田老連役員会終了後にeスポーツ、健康麻雀を体験しました。



令和4年11月25日
各地区的老人クラブで「モルック」を取り入れた健康づくりを行っております。

TOPICS 蓬田村身体障害者福祉会



令和4年11月1日
秋の野外研修で弘前城「菊と紅葉まつり」に行ってきました。



令和5年2月28日
モルックを体験しました。

TOPICS 蓬田村母子寡婦福祉会



令和5年3月6日
「ねまるカフェ」で会員交流会を行いました。

TOPICS 蓬田村共同募金委員会



ラインメール青森の試合会場で募金運動を行いました。

TOPICS 蓬田村民生委員児童委員協議会

毎月第2水曜日に定例会を開催しています。





活躍の場がたくさんあります!

ボランティア募集



送迎や除雪、草刈り、農作業などのボランティアを募集しています。蓬田村ボランティアセンターでは、「ボランティア活動をしたい人」と「ボランティアをしてほしい人」のコーディネートと、誰もが安心して暮らしていくける村づくりを進めるためにボランティア活動の推進をしております。



たすけあい交通

病院や商業施設、役場や郵便局などを目的地に送迎を行う有償ボランティア活動です。自分にできる時間、行ける範囲で送迎することが可能ですが、二種免許保有者以外の方は講習の受講が必要となります。



生活支援ボランティア

除雪や草刈りなどの軽度な作業を行う有償ボランティア活動です。作業内容や破損リスクの確認、必要な道具の準備は蓬田社協で行います。



援農ボランティア

たまねぎの生産作業、ミニトマトのパック詰めを行うボランティア活動です。生産者の畑や選別作業を行うハウスで行います。蓬田社協で日程を調整し、場所等の連絡をいたしますので、自分にできる範囲で気軽にご参加ください。人とのつながりを育み、介護予防が期待されます。友人やご近所さんなど誰でも利用できる通いの場です。お気軽にお越しください。

ボランティア養成研修 随時開催

ボランティア活動に参加するにはボランティア養成研修を受講する必要があります。随時開催しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

研修内容

- ・ボランティア活動について
- ・介助の基本
- ・介護保険の仕組み
- ・認知症って何?

ボランティア活動をしてみたいと思っている方へ

「何かボランティアをやってみたいけど、自分にどんなボランティアが合っているのかよく分からぬ」など、ボランティアに少しでも興味のある方はぜひボランティアセンターへご連絡ください。

お問い合わせ
蓬田村社会福祉協議会 蓬田村ボランティアセンター
電話:0174-27-2828

